

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
個人 A氏	常時1名 臨時1名	大阪府富田林市	事業承継及び主力品目の収益性向上	1回

相談内容・現状課題

■相談内容

- ① 直売所を含む事業継承と複式簿記記帳(青色申告)による収支の把握
- ② 主力品目であるいちごの生産拡大に向けた事業計画の策定
- ③ いちご栽培における天敵活用について検討しているので、これらの実践するためのアドバイスが欲しい。

■現状課題等

- ・円滑な事業継承のため、諸手続きと事業承継を見据えた経営計画の策定が必要。
- ・直売所を含めた経営収支が不明確であり、複式簿記記帳による正確な収支の把握が必要。
- ・天敵を活用したいちご栽培に意欲的ではあるものの、農薬の使い方等について指導が必要。
- ・雇用労務費が経営を圧迫しており、健全な農業経営に向けた適正な雇用労働力の確保が必要。

相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

広範な相談内容に対応するため、中小企業診断士、税理士及び社会保険労務士を中心とした支援チームを編成して支援を行った。

1. 直売所部門の経理、適正な雇用労働を含む経営分析、円滑な事業承継と承継後の経営計画の作成
 - ・複式簿記指導による収支の把握、特に直売所における経理について整理し、収支計画の作成について指導。
 - ・事業承継に向けた諸手続きについて指導。
 - ・事業承継に向けて家族間の話し合いを誘導、事業承継後の経営計画・役割分担作成を支援。
 - ・適正な雇用労働について分析・検討。
 - ・いちご生産拡大に向けた事業計画作成を支援。

2. いちご栽培における天敵活用指導
 - ・技術指導を行い、天敵の活用方法の習得を支援。



普及指導員による技術指導

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

- ・複式簿記記帳(青色申告)の実践と、それによる収支等経営内容を把握し、経営の方向性、収益性、生産性等の客観的な経営分析を行った。
- これにより、いちご生産拡大に向けた事業計画を策定するとともに、雇用労働力の再分配を行うことができた。また、天敵活用技術の習得も行うことができた。
- ・経営継承の取組みでは、親子間での経営分離が不明瞭でそれぞれの経営管理が行き届いておらず、新規投資の判断ができないといった問題点も明らかになり、これを解決できたことで、令和元年度に直売所を含む事業承継が実現できた。

■コーディネーター所感

農業者、専門家、農の普及課が目的を共有するとともに、専門家は経営・経理、農の普及課は栽培と経営継承における家族間の問題に対する支援とそれぞれの専門分野で役割分担して支援することで、効率的かつ効果的な支援に結び付いた。今後は、事業承継後の経営状況を適宜把握し、経営の確立・発展に向けた取組が行われることを期待したい。